

# AirTriQドリームキャビネット利用ガイド (はじめに)

2025年5月

# 本ガイドについて

本ガイドは AirTriQ ドリームキャビネットをご利用いただく際に最初にご覧になる利用ガイドです。 大容量プランまたは AirTriQ プレミアムをご利用のお客さまは本ガイド記載の中の「顧客 ID」は「フォル ダーID」に読み替えていただきますようお願いいたします。

© Copyright ユニアデックス株式会社 All rights reserved.

# 目 次

Ι	AirTriQ ドリームキャビネット概要3
(a)	AirTriQドリームキャビネットとは?3
(b)	セキュリティについて4
(c)	ユーザーについて
1	管理者5
2	一般ユーザー
3	コラボレーションユーザー5
(d)	フォルダー構成について6
1	Collaboration (コラボレーション) フォルダー
2	Mail フォルダー
3	Personal (個人用) フォルダー7
4	Project フォルダー
5	ReadOnly (読み取り専用) フォルダー9
6	Share (共有) フォルダー
7	各フォルダーとユーザーの関係10
(e)	動作環境11
1	オペレーティングシステム11
2	Web ブラウザー11
3	アプリケーションソフトウェア11
(f)	文字制限12
II	AirTriQ ドリームキャビネット使用方法13
(a)	Web クライアントによる利用13
(b)	ネットワークドライブによる利用14
III	お問い合わせ対応15
(a)	ご契約に関するお問い合わせ15
(b)	技術的なお問い合わせ15
(c)	障害情報URL15
IV	付録16
(a)	登録商標、商標、および表記について16

# I AirTriQ ドリームキャビネット概要

#### 

AirTriQ ドリームキャビネットは専用クライアントソフトウェアを必要としないインターネットオン ラインストレージです。「いつでも、どこでも、どのデバイスからでも必要な情報にアクセス出来 る」ことを実現したITソリューション、そして使い方次第でお客様のビジネススタイルを一新す ることができる頼もしいシステムです。



AirTriQドリームキャビネットにご加入のお客様には、お客様固有の顧客 ID を含む URL を提供し、Web ブラウザーやエクスプローラーからその URL をアクセスしていただきます。お客様はこのストレージ領域をお客様専用の"Web フォルダー"として認識でき、このフォルダーに格納されたデータはインターネットに接続されたクライアントPCからアクセスすることが出来ます。

## (b) セキュリティについて

インターネットにおいて大切なことの一つにセキュリティがあげられます。AirTriQ ドリームキャ ビネットではすべての通信においてセキュア・ソケット・レイヤ (SSL/TLS)<sup>1</sup>による 256 ビットの 暗号化を施しており、安全な通信を実現しています。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> Netscape Communications 社によって開発された、現在もっとも普及しているインターネットの暗号通信プロトコルです。インターネットにおいて盗聴不可能で安全な通信を可能にします。

# (c) ユーザーグループについて

AirTriQドリームキャビネットでは、管理者、一般ユーザー、コラボレーションユーザーの3種類のユーザーグループがあります。それぞれのユーザーグループの役割などについて、以下で簡単に説明します。

#### 1 管理者

管理者はお客様のサイトにおける AirTriQ ドリームキャビネットの管理者に割り当てられるユ ーザーです。ユーザーの追加、削除、変更を行うことが可能であり、また、お客様情報の変更 や、全体のディスク使用量の把握などが可能です。管理者は一般ユーザー同様に AirTriQ ド リームキャビネットを使用することが可能です。管理者は最低一人が必要ですが、複数の利 用者に設定することも出来ます。管理者の設定は管理ツールで行います。詳しい操作方法に ついては、「AirTriQ ドリームキャビネット 利用ガイド(管理ツール編)」をご覧ください。

#### 2 一般ユーザー

一般ユーザーは社内における AirTriQ ドリームキャビネットの利用者に割り当てるユーザーで す。一般ユーザーは割り当てられたフォルダーにおけるファイルの作成、保存、削除、読み取 りを行うことが可能です。利用可能なフォルダーについては、次章をご覧ください。また、一般 ユーザーは自身が使用しているパスワードの変更、使用しているディスク容量の確認が可能 です。

#### 3 コラボレーションユーザー

コラボレーションユーザーは双方向のデータ共有を行う社外のメンバーに割り当てるユーザ ーです。コラボレーションユーザーは Collaboration (コラボレーション)フォルダーと呼ばれる 特定のフォルダーにのみ作成、保存、削除、読み取りを行うことが可能なユーザーです。この フォルダーは一般ユーザー、管理者、コラボレーションユーザーによって共有されているため、 双方向でのデータの交換が可能です。

## (d) フォルダー構成について

AirTriQドリームキャビネットご加入直後のフォルダー構成は次の通りとなっています。以下の 画面例は、顧客 ID が example.com の場合です。



図1 トップフォルダー

初期設定時には図1のように 6 つのフォルダー<sup>2</sup>が作成されています。それぞれのフォルダーについて簡単に特徴を説明します。

1 Collaboration (コラボレーション) フォルダー

AirTriQドリームキャビネットにおいてもっとも特徴のあるフォルダーで、社外や組織外との双 方向のコラボレーションに使用します。Collaboration フォルダーはコラボレーションユーザー、 一般ユーザー、管理者によって共有されています<sup>3</sup>。このため、社外のコラボレーションユーザ ーが保存したファイルの社内の一般ユーザーによる編集や、その逆の操作が可能になります。 コラボレーションユーザーを登録することで Collaboration フォルダーの配下にコラボレーショ ンユーザーのフォルダーが自動生成されます。

コラボレーションによるファイル共有が期間限定の場合、Collaboration フォルダー使用終了後に管理者がフォルダーごと削除することができます。

<sup>2</sup>初期設定時に作成されるフォルダーと同じ階層にファイルやフォルダーを作成することは出来ません。

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup> コラボレーションユーザーは Collaboration フォルダー内の割り当てられたフォルダーのみを利用するように設計 されています。このため、他のフォルダーにあるお客様のデータがコラボレーション先に漏洩することはありません。

#### 2 Mail フォルダー

期限付きダウンロード機能で使用するフォルダーです。Mailフォルダーの下には1回のアップ ロード毎にサブフォルダーが自動生成されます。期限付きダウンロード機能のメールを受け取 った相手は、メール本文のURLをクリックすることでサブフォルダー内のファイルをダウンロー ドすることができます。このサブフォルダーは管理者であっても削除することができません。

#### 3 Personal (個人用) フォルダー

一般ユーザーや管理者が個人的に使用するフォルダーです。Personal フォルダーの下には AirTriQドリームキャビネットに登録されている管理者及び一般ユーザーのユーザーIDと同じ 名前のフォルダーが自動生成されます。

🚞 Persona	l					_	
ファイル(E)	編集( <u>E</u> ) 表	÷∓⊘	お気(	こ入り( <u>A</u> )	ツール①	»	2
🔇 戻る 🗸	🕤 - 🌔		検索	P7 78	лў 🛄 <mark>III</mark> I	•	
<u>ראל שליאל שליא</u>	📄 Personal				-	⇒	移動
				]			
sample	sampleA	. :	sample	В			

図2 Personal フォルダー

上記例では、sample という管理者が、一般ユーザー sampleA と sampleB を追加した場合の Personal フォルダーの内容を表示しています。

管理者 sample のフォルダーを開くと、図3のようにユーザー登録時に AirTriQドリームキャビ ネットが自動生成した private と public の 2 つのフォルダーが表示されます。一般ユーザー sampleA と sampleB のフォルダー内にも同様に Private と Public フォルダーの 2 つの フォルダーが作成されます。



#### 図3 ユーザーフォルダー

この2 つのフォルダーにはそれぞれ次のような機能があります。

- Private (プライベート) フォルダー
  Private フォルダーはフォルダーの持ち主であるユーザー (この例では管理者 sample) のみ がファイルやフォルダーを作成、読み取り、保存、削除することが可能なフォルダーです。
   Private フォルダーは他のユーザー、たとえ管理者であっても操作することが不可能です。
- ② Public (公開) フォルダー<sup>4</sup>

Public フォルダーはフォルダーの持ち主であるユーザー (この例では管理者 sample) だけ がファイルやフォルダーの作成、読み取り、保存、削除が可能なフォルダーです。 持ち主以外のユーザーは読み取りだけが可能です。このため、個人的な情報の発信やデー タの提供などに使用すると大変便利です。

4 Project フォルダー

特定メンバー間でファイル共有するときに使用するフォルダーです。管理ツールからプロジェ クト作成を行うと、Projectフォルダーの配下にサブフォルダーが自動生成されます。このサブ フォルダーはプロジェクト作成時に設定したユーザーしかアクセスすることができません。 アクセス権には、読み取りのみと読み取りと更新の2種類があります。

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup> フォルダー所有者以外のユーザーが Public フォルダーにあるファイルをダブルクリックで開こうとすると、一部クラ イアント環境によっては開けないことがあります。その際にはご自分の PC のデスクトップまたは適当なフォルダーに コピーしてご利用ください。

#### 5 ReadOnly (読み取り専用) フォルダー<sup>5</sup>

一般ユーザーに対する読み取り専用のデータを格納するフォルダーです。ReadOnly フォル ダーは、管理者がテンプレートや定型データなどを置いておき、一般ユーザー自身の PC で編集するような用途に向いています。ReadOnly フォルダーの下にフォルダーを作成、保存、 削除することが可能なユーザーは管理者だけです。

#### 6 Share (共有) フォルダー

ー般ユーザーや管理者がデータをシェア(共有)するためのフォルダーです。Share フォルダ ーには一般ユーザーおよび管理者がフォルダーやファイルを作成、読み取り、保存、削除す ることができます。ファイルの使用目的やプロジェクト単位などでフォルダリング・ファイリングを すると便利です。Share フォルダーにあるファイルは読み書き自由ですが、他のユーザーがダ ブルクリックで開いて編集しているときには編集することが出来ません。なお、この機能はファ イルをダウンロードして編集する場合には適用されません。

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup>一部のクライアント環境では、ReadOnly フォルダー内のファイルはダブルクリックで開かないことがあります。その際はファイルをご自分の PC のデスクトップ、または適当なフォルダーにコピーしてご利用ください。

## 7 各フォルダーとユーザーの関係

上記のフォルダーとそれぞれのユーザーの関係は以下のようになります。

	10 TE 44	一般ユーザー		コラボレーションユーザー		
	官理省	ユーザーA	他のユーザー	ューザーB	他のユーザー	
顧客IDのトップフォルダー	R	R	R	-	-	
Collaboration	R	R	R	-	-	
ユーザーB	R∕W	R∕W	R∕W	R∕W	-	
Mail	R	R	R	-	-	
Personal	R	R	R	-	-	
ユーザーA	R	R	R	-	-	
Private	-	R∕W	-	-	-	
Public	R	R∕W	R	-	-	
Project	R	R	R	R	R	
プロジェクトフォルダー	R∕W	R∕W	R∕W	R∕W	R∕W	
ReadOnly	R∕W	R	R	-	-	
Share	R∕W	R∕W	R∕W	-	-	
- ディレクトリーの参	照も含めて全てのア	クセスができない。				
R/W ディレクトリー参照	R/W ディレクトリー参照、ファイル閲覧およびフォルダ、ファイルの追加削除が可能					

図4 各フォルダーとユーザーの関係

ディレクトリー参照、ファイル閲覧が可能

R

# (e) 動作環境

AirTriQドリームキャビネットを使用するためには、以下のような動作環境が必要です。

#### オペレーティングシステム 1

最新の Windows Update が適用された下記のオペレーティングシステム (以下、OS) Windows10, Windows11

AirTriQ ドリームキャビネットは、本ガイドの発刊現在で上記 OS の最新版における動作を確 認しております。それ以前にアップデートされたOS、もしくはアップデートが未適用のOSにつ きましては、最新版にアップデートされることを推奨します (アップデートされていない場合、 AirTriQドリームキャビネットがご利用になれない場合があります)。

#### Web ブラウザー 2

•windows Firefox Chrome Microsoft Edge ·iOS Safari

#### 3 アプリケーションソフトウェア

AirTriQドリームキャビネットにはさまざまなフォーマットのファイルでの利用が可能です。これ らのファイルはアップロード、ダウンロードによってユーザーのPCからアクセスすることが出来 ます

# (f) 文字制限

AirTriQドリームキャビネットでは、以下の文字制限があります。

事象	制限される文字と使用時の影響
ファイル名	■文字
フォルダー名	¥ / : * ? " < >   # & , ; ~
	■影響
	入力時のエラーおよび、予期せぬ結果となることがあり
	ます。
メール配信時の本文	■文字
ユーザー情報の氏名(※1)	環境依存文字(機種依存文字)
	例)・半角カタカナ
	・①などの丸付き数字
	・会社名用いられる㈱(制代)など
	・漢字の髙、﨑、瀨 など
	■影響
	Web クライアントや管理ツールからメールを配信する際、
	当該文字以降が表示されません。

(※1)管理ツールのユーザー情報の氏名

# II AirTriQ ドリームキャビネット使用方法

この章では AirTriQ ドリームキャビネットのご利用方法について説明します。

#### (a) Web クライアントによる利用

Web クライアントとは、お客様の AirTriQ ドリームキャビネット上のフォルダー/ファイルに対し、 Web ブラウザーからアクセスしていただくためのツールです。詳しい操作方法については、 「AirTriQ ドリームキャビネット利用ガイド(Web クライアント編)」をご覧ください。

AirTri	🕄 AirTriQ Dream Cabinet - Google Chrome – 🔲 🗙						$\times$	
								Q
<i>III</i> AirTri(	Dream Cabine	" 💄 sar	nple		£ ?-	• •	٠	•
Search	1		Q	🏠 アップロ	ード ■新規フ	ォルダ	🕸 操作	∃ ▼
/exam	nple/							
選択	状態	種類	名前	÷	更新日	÷	容量	
			Collaboration/		2020.11.06 15	:18:51		-
			Mail/		2020.11.06 15	:18:51		-
			Personal/		2020.11.06 15	:21:44		-
			Project/		2020.11.06 15:	:18:51		-
			ReadOnly/		2020.11.06 15:	:18:51		-
			Share/		2020.11.06 15:	:24:19		-
Showing 1 to 6 of 6 rows								

図 5 Web クライアント

# (b) ネットワークドライブによる利用

AirTriQ はマイクロソフトウインドウズ・エクスプローラ上でネットワークドライブに割り当てて Windows エクスプローラーとほぼ同様の使用感でご利用いただくことも可能です。 ウインドウズのネットワーキングと AirTriQ ドリームキャビネットのネットワークドライブの大きな 違いは使用しているプロトコルです。マイクロソフト Windows は SMB (Server Message Block) を使用しているのに対して、AirTriQ ドリームキャビネットは WebDAV(RFC4918) という HTTP 拡張プロトコルを使用しています。詳しい操作方法については、「AirTriQ ドリームキャビネット 利用ガイド(ネットワークドライブ編)」をご覧ください。



図6 ネットワークドライブ

# Ⅲ お問い合わせ対応

お問い合わせは登録された連絡担当者様からのみを受付致します。

#### (a) ご契約に関するお問い合わせ

項目	説明
窓口	AirTriQ インフォメーションセンター
受付時間	弊社営業日 9:00~17:00
電子メール	info@airtriq.jp

# (b) 技術的なお問い合わせ

項目	説明
窓口	AirTriQ サポートセンター
受付時間	弊社営業日 9:00~17:00
電子メール	support@airtriq.jp

# (c) 障害情報URL

以下のホームページで障害情報を公開しています。

http://www.airtriq.jp/mainte.html

# Ⅳ 付録

#### (a) 登録商標、商標、および表記について

マイクロソフト ® Windows® 10 Operating System 日本語版 マイクロソフト ® Windows® 11 Operating System 日本語版

本ドキュメント中では、上記各オペレーティングシステムを Windows10、Windows11 と表記しています。

また総称して Windows または OS と表記を省略することがあります。

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国及び各国での登録商標または商標です。また、そのほかすべての商標、登録商標は該当する各社が有しています。